



横須賀市立神明小学校 学校だより



神明っ子Time

校長 山崎 亨

本物との出会い 横浜DeNAベ이스ターズ訪問授業

6月21日(金)、6年生を対象に横須賀市観光部文化スポーツ振興課主催の『横浜 DeNAベ이스ターズ学校訪問授業』が行われました。

この事業は、子どもたちにとって非日常の存在であるプロ野球選手との交流を通じ、スポーツの素晴らしさや楽しさを体育の実技をもって体感することをねらいとしています。市内で4校しか選ばれない中、神明小学校は強運の持ち主です。

今回の応募の条件の一つに、授業内容については子どもたちには一切

口外しないことがありました。ですから6年生

の子どもたちは、担任から「学年の体育スペシャル企画」があるただけ聞いており、朝からそわそわしている子もいたそうです。私はと言うと、事前に今回の件は知っていたので、「プロ野球選手に会える!」と朝から気持ちも高ぶっ

ていました。

迎えた4時間目。あいにくの雨で体育館にて授業がスタート。ベ이스ターズの応援歌をバックにさっそうと入場してきた3選手は、松本隆之介投手#40、高田琢登投手#56、栗飯原龍之介内野手#133。子どもたちの歓声が響く中、「えー!」「うそー…」と信じられない表情を浮かべている子も…。



自己紹介後に、早速キャッチボールを披露してくれた3選手。「おお〜」「はええ…」とここでも驚きの声を発し、あっという間にグローブにボールが収まる光景を食い入るように見ていた子どもたちの姿が印象的でした。その後、一人





一人が選手とキャッチボールを。一人3球限定でしたが、「ナイスボール!」と声をかけてもらっていた子も多くいました。直接キャッチボールをしてもらえるなんて夢のような話です。我々数人の教員も相手をしていただきました。

続いてはトスバッティングへ。選手に見本を見せてもらった後に一人1球にチャレンジ。鋭い打球を飛ばす子もあり、どよめきが起こる場面もあったようです。

最後はクラスごとの記念撮影。本物の選手をより一層身近で感じる事ができました。その場で子どもたちに感想を聞いてみると「楽しかった!」「もう一回やりたい!」という声が飛び交い、満足感に浸る時間を過ごす事ができたようです。



授業後に私から3選手に「どんな小学校生活を送っていたのですか?」と



聞いてみました。私は「野球に明け暮れている毎

日でした。」こんな答えを予想していました。ところが3選手に共通して、「小学生の頃は野球以外にも水泳や陸上、バスケットボールなど、いろいろなスポーツを経験していました」といった言葉が返ってきたのです。

ひとつのスポーツだけでなく複数のスポーツを行うことにより、運動神経や運動能力をバランスよく鍛えることにつながるということなのでしょう。また、特定のスポーツしか選択肢がないというのではなく、さまざまな種目を経験することで、やがては自分にあったスポーツと出会うことにもつながるのでしょう。

野球やソフトボールのチームに所属している子どもたちや、野球が大好きの子どもたちにとっては夢のようなイベントだったに違いありません。(もちろん私もその一人です。これからはジャイアンツの次にベイスターズを応援しようと思います…。)



選手の一人がこんなことを言っていました。「これからもスポーツや勉強を楽しんでください」と。目の前のことを楽しむ。これが今、神明っ子たちに求められていることの一つなんだと思います。10～15年後には、この中からさまざまなプロの道に挑戦している子が出てくるかもしれません。その時を夢見て、今からワクワクしています。